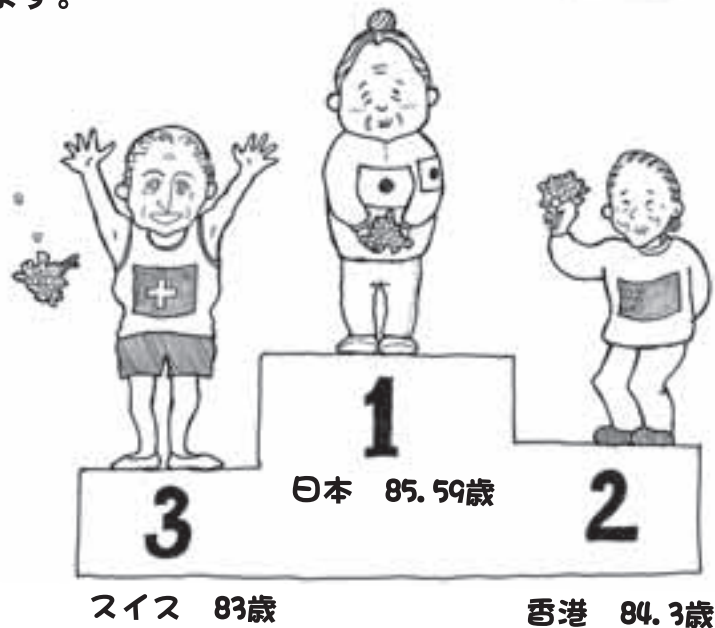


音をたててやってきた。 日本人の高齢化

女性の寿命は、20年連続長寿世界一

日本人の高齢化は、今まで経験したことのないスピードで進んでいます。



◇日本人の寿命

7月に、厚生労働省から発表された平成16年の「日本人の平均寿命」は、男性78・64歳、女性85・59歳となりました。前年と比較して男性は、0・28年、女性は0・26年上回りました。今から約60年前の昭和22年の平均寿命は、男性50・06歳、女性53・96歳でした。わずか60年の間で、男性は28・58歳、女性は31・63歳も寿命が延びたことになります。（左ページのグラフ1）

同省では、高齢者人口は、平成32年まで急速に増加し、その後安定的に推移すると予測しています。

なお、世界の国々と比較（注）すると、男性は1位のアイルランド（78・8歳）に次ぐものの、女性は1位で、2位の香港（84・3歳）を大きく引き離しています。

これにより、女性は「20年連続長寿世界一」が確実です。

◇高齢化率

こうした平均寿命が延びる一方で、少子化による総人口が減少することから、日本の高齢化率（人口に占める65歳以上の人口）は、上昇し続け平成62年には、35・7％に達すると見込まれます。

当市の高齢化率は、昭和30年の国勢調査時で、6・5％でしたが、その後、上昇傾向が続き昭和60年には、10・7％と二けたとなりました。今年の4月の高齢化率は、17・14％と過去最高になっています。（左ページグラフ2）

地区別では、三和地区が29％、伊深地区が24・42％と20％以上の高い数値になっています。（左ページグラフ3）

このまま平均寿命が延び続けると、平成21年には、18・5％（第4次総合計画）になると推計しています。

（注）各国との比較については、統計年次が異なります。